

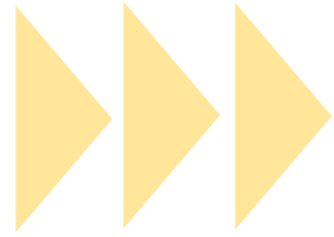
## 町の今後の状況(将来)

高齢者増・現役世代減

要介護認定率上昇

認知症高齢者増加

1人暮らし高齢者増加



## 町の理想像(計画の方向性)

### 長期総合計画 基本構想(H28~R7)

#### 着実にわがらで創る**笑顔**のまち 那智勝浦

町民と行政が力を合わせ、地域づくりの仕組みを構築するための協働のまちづくりを目指す

▶ 町民一人ひとりが主体的に楽しんで日々を生きていける社会

福祉分野

#### 福祉が充実したまちづくり

- ▶ 公助・共助・自助の連携を強め、各人が積極的に社会に参加し、生きがいのある生活を送れるようにするための環境づくりを推進する
- ▶ 予防と健康に対する施策を推進する

## 理想を実現するための施策の方向性

年齢や障害に関わらず、みんなで地域を創っていくことができる仕組みづくり

【具体的な取組の例】  
支え合いのまちづくり など

介護が必要になっても地域で安心して暮らすことができるようにするための取組み

【具体的な取組の例】  
介護サービス整備 など

要介護状態とならないよう、自ら予防するようになるための取組み

【具体的な取組の例】  
介護予防 など

認知症になっても変わらずに地域で過ごすことができるようにするための取組み

【具体的な取組の例】  
認知症施策 など

### 地域福祉計画 基本理念(R2~R6)

#### わがらで支え合う**笑顔**あふれる住みやすいまち

わがら = 町の課題、身近な人の課題を「我が事」として捉えていくことができるよう、福祉意識を醸成していく

支え合う = 支援を必要とする方が増加傾向となっているため、地域全体で「支え合う」意識を高め、地域一体となった支援体制の構築を整備する

笑顔 = 生活不安があっても相談し合うことのできる環境であり、誰もが生きがいを持った生活ができる「笑顔」あふれる町である

住民一人一人の暮らしと生きがい、地域を共に創っていくができる  
**地域共生社会の実現**

### 介護保険事業計画 基本理念(R3~R5)

#### 住民一人一人が生きがいを持って、地域で支え合いながら共に暮らすことができるまち

【キーワード】 笑顔、支え合う、生きがい

- ▶ 地域包括ケアシステムの深化(H27から位置づけられた地域包括ケア計画の最終計画期間)  
→ さらに進んで**地域共生社会**の実現
- ▶ **2025年、2040年**を見据えたサービス・人的基盤の整備
- ▶ **介護予防、認知症施策、人材確保、災害・感染症対策の体制整備**に関する取組みの推進